

オーガニックコットン種まきイベント

野馬土の新聞

(Web版)

2019年5月号

特定非営利活動法人
野馬土

相馬市石上字南白鬮320
TEL.26-8437
FAX.26-8203



新元号「令和」になり初のコットン種まきイベントが五月十一日に小高区井田川で行われました。いつもは工事車両以外ほとんど人のいない井田川ですが、イベント当日は暑すぎず寒すぎずちょうどよい天気と気温に恵まれ、地元住民のほか、明治大学生を含む関東圏からの参加者が大型バスでやってきました。参加者は総勢一〇一名。途中、種が足りなくなるハプニングもありましたが、コットンの種まき初体験の人は、去年の経験者に蒔き方を教えてもらいながら、楽しそうにマルチの穴に種を蒔いていました。



種まき終了後は、お楽しみみのバーベキュー。美味しいお肉と新鮮な野菜を焼くのに誘われて、バーベキューコンロの周りにはたちまち子ども達でいっぱいになりました。また、南相馬市と東京都杉並区の子ども達が歌とダンスでつながっている『トモダチプロジェクト』によるパフォーマンスで、会場は大いに盛り上がりました。十月のコットン収穫が楽しみです。



植え体験をしてきました！



五月十一日、特定非営利活動法人野馬土の親子食育体験の一環として、新地町駒ヶ嶺の目黒文夫さんの田んぼで毎年恒例となっている、創業九十年を誇る水炊きの老舗「新宿・玄海」の新社員の方々による田植え体験に便乗参加させていただきました。はじめは素足に伝わる何とも言えない泥の感触や田んぼを泳ぐカエルや虫たちに怯えた様子の子どもたちでしたが、目黒さんの運転する田植え機に同乗させてもらったり、子どもたちよりも泥まみれになった新入社員のお兄さんお姉さんとも打ち解け、一生懸命苗を植えました。お天気にも恵まれ、用水路での水遊びも堪能。米どころ福島の実験のため、このような機会を通して将来の担い手を育むきっかけにつなげたいと考えています。秋の収穫が楽しみです。



特定非営利活動法人 野馬土 第八回総会および 令和元年度第一回理事会



五月二十五日(土)午後三時よりカフェ野馬土にて正会員九名出席のもと第八回総会を開催しました。平成三十年度活動報告・決算報告などを議長・三浦代表理事進行のもと滞りなく終了しました。引き続き令和元年度第一回理事会を開催。議長・杉代表理事が進行し、理事九名と今年度の事業計画などを協議しました。閉会後は「和料理みはらし」にて懇親会を行いました。食事やお酒を楽しみながら、今後の事業計画などについて話し交流を図りました。相馬地方の農業と地域の復興を目指して設立から八年を迎え、職員一丸となって、今までよりさらに活発な活動を展開してまいります。今後も野馬土の活動に対しご支援とご協力をよろしくお願いいたします。



寄付をいただきました

昨年に引き続き、東京の美術家の団体より、日本美術会主催 第七十二回「アンデパンダン展」での販売と募金活動による収益のうち八八、九八三円をご寄付いただきました。福島を忘れない！風化を許してはならない」との思いで支援活動を行っている団体です。今後の活動に有意義に活用してまいります。

「時代の表現・生きる証」
作品募集
自由出品
非常賞

第七回
日本
アンデ
パンダン
展

2019/3.20-4.10
会場：野馬土
受付：野馬土

ありがとうございます
ございました